

■ 平成28年度 大阪府債発行計画（案）

【起債運営の考え方】

- 大阪府の財政状況、今後の施策の方向性の周知を深め、安定的かつ効率的な調達への推進
- 時期や年限、総額等をあらかじめ定めないフレックス枠などを活用し、市場環境に応じて柔軟な形態で起債
- 今後の金利変動リスクに備えるため、調達期間を長期化
- 投資家や市場関係者との丁寧な対話を重視

(単位:億円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計			
市場公募債	10年	200	200	200	200	200	200	1,200	下期発行額 市場公募債と銀行等引受債 合計:2,600億円+α						4,400+α			
	5年	200	200	200	200	200	200	1,200										
銀行等引受債	証券 5年			100				100+α							300+α		900+α	
	証書			200				200+α							600+α			
共同発行債	10年	800													800			
フレックス枠		1,700													1,700			
合計															7,800			

(注) 本計画は、民間資金にかかる月別の発行予定額であり、市場の状況等により、本計画どおり発行しない場合がある。
フレックス枠から市場公募債、銀行等引受債への振替えの可能性あり。
α:変動要素